



SSH通信

第23号

令和5年4月26日 発行
東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校
〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
電話 03-3382-0601
最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

令和5年度の 富士未来学スタート

SSH指定3年目となりました。全校生徒が6年間を貫く課題研究「富士未来学」に挑戦します。富士未来学では、課題研究に必要なスキルを習得するための講座を、各学年で設定しています。

富士未来学Ⅰ「富士未来学Ⅰガイダンス」中学1学年

ガイダンスでは、これから始まる6年間の課題研究「富士未来学」の概要を学び、特に力を入れたことについての目標を立てました。また、挑戦力を働かせて、国際科学コンテストや国際科学オリンピック、学会発表に積極的に取り組むことの大切さを学びました。



富士未来学がスタート

富士未来学Ⅱ「研究倫理講座」中学2学年

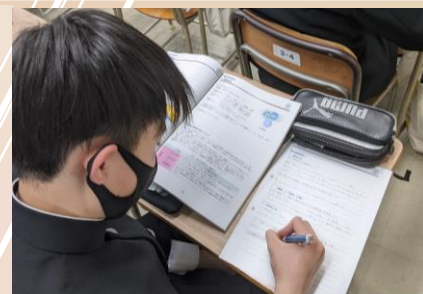
研究倫理講座では、新聞の記事やケーススタディをとおして、ねつ造、改ざん、盗用の意味について学びました。何が問題なのか、そのときどのような行動や助言をすべきだったかを考え、理由とともに記述しました。課題研究では研究倫理の理解が必要です。



改ざんとは

富士未来学Ⅲ「探究基礎講座」中学3学年

探究基礎講座では、「探究」「勉強と探究の違い」「科学的とは」「科学的に思考する」について考えました。科学的とは、実証性・再現性・客観性があることをいいます。課題研究にとって、科学的であることは大切です。高校1学年から履修する「理数探究」について考え、探究の過程を学びました。



科学的とは

富士未来学Ⅳ「課題発見講座Ⅲ」高校1学年

課題発見講座Ⅲでは、研究課題を発見するためのワークショップを実施しました。「やるべきこと、意味のあること」について記入し、その中から「やりたいこと」や「得意なこと、できそうなこと」を考えました。変わったところが研究課題になるかもしれません。試行錯誤しながら研究課題を設定することが大切です。



試行錯誤の連続

富士未来学Ⅴ「質問紙講座Ⅱ」高校2学年

昨年度学んだ質問紙講座Ⅰの復習と、実際に質問紙調査を行う際の決まりを確認しました。また、安易な調査は人を傷つけてしまう可能性があることを知り、研究倫理や人権に配慮した研究課題や質問項目を考えることの大切さを学びました。



研究倫理に配慮

富士未来学Ⅵ

「アカデミック・ライティング講座Ⅱ」 高校3 学年

アカデミック・ライティング講座Ⅱでは、昨年度完成させた論文を、英語の論文やポスターにまとめていきます。今回は、英語論文の構成を学びました。富士の英語科教員やJET（ネイティブ教員）の指導の下、英語によるポスターセッションに挑戦します。



英語論文に挑戦



実験中心の授業

SSマテリアル理論 高校2 学年

SSマテリアル理論は、化学の研究における素養を身に付けることを目的とした学校設定科目です。探究の過程を取り入れ、実験を中心とした授業をしています。今回の授業では「銅の旅」を行いました。銅の単体を他の銅の化合物に変化させて、再び銅の単体に戻す実験です。溶液の色が変化し、きれいな青色になると感動の声が上がりました。

さくらサイエンスフェア 4月20日(木)

各国からの訪日団と交流を行いました。午前中は生物、天文、化学、レーシングホビー、スポーツの5つのチームに分かれて、英語で研究発表をしました。午後は薙刀部、剣道部、茶道部がそれぞれ体験等を行い、日本の伝統に触れる機会を提供できました。東北大学副学長の小谷元子先生によるオールイングリッシュでの講演では、訪日団の生徒の積極的な質疑の様子がとても印象的でした。春休みから準備をしてきた生徒たちが、立派に発表していました。お互いに有意義な交流となりました。



200名を超える参加者

第1回理数セミナー 4月15日(土)

「LGBTQ+ってなに？

－脳の性について正しく知って差別をなくす－

講師 国際基督教大学自然科学部門 特任教授

小林牧人先生(本校卒業生)

生物学の観点から、性の多様性について講演をしていただきました。社会の課題を解決する姿勢の重要性を学ぶことができました。生徒たちは「難しかったけど興味深かった。」と話していました。

第2回理数セミナー 4月22日(土)

「改めて持続可能性とは何かを考える

～これからの人間と自然との向き合い方～

講師 京都大学特任教授・武蔵野大学 名誉教授

一方井誠治先生(本校卒業生)

持続可能性という言葉の定義について、様々な資料を引用しながら講演をしていただき、改めてSDGsについて考えるきっかけになりました。参加した生徒には、社会が抱える問題に目を向けて研究課題を設定することを期待します。



強い(弱い) 持続可能性とは